■この章でおこなうこと

BroadStation の設定画面を使用してできる、さまざまな機能について説明しています。

第6章

設定画面の機能説明

6.1 BroadStation の設定画面の使い方

6.2 設定画面で使える機能

6.1 BroadStation の設定画面の使い方

■ 設定画面とは

BroadStation の設定画面では、簡易設定、詳細設定、機器診断の表示をおこなうことができます。

簡易設定

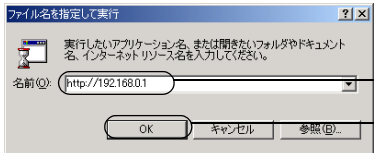
標準的な入力をするだけで、BroadStation の設定ができます。

詳細設定

基本設定やアドレス変換、ルーティング設定などお使いの環境に合わせた細かい設定ができます。

機器診断

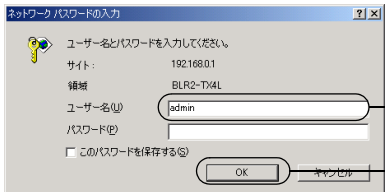
BroadStation の本体情報やネットワーク情報などを表示します。

ログアウト

BroadStation を設定する機器を切り替えるときに使用します。

■ 設定画面を表示する

BroadStation の設定画面は、以下の手順で表示できます。

1　**［スタート］－［ファイル名を指定して実行］を選択します。**

2

1 入力　**「名前」欄に「http://192.168.0.1」を入力します。**

2 クリック　**［OK］をクリックします。**

BroadStation の IP アドレスを変更した場合は、その IP アドレスを入力します。

3

1 入力　**この画面が表示されたときは、「ユーザー名」に「admin」と入力します。**

2 クリック　**[OK] をクリックします。**

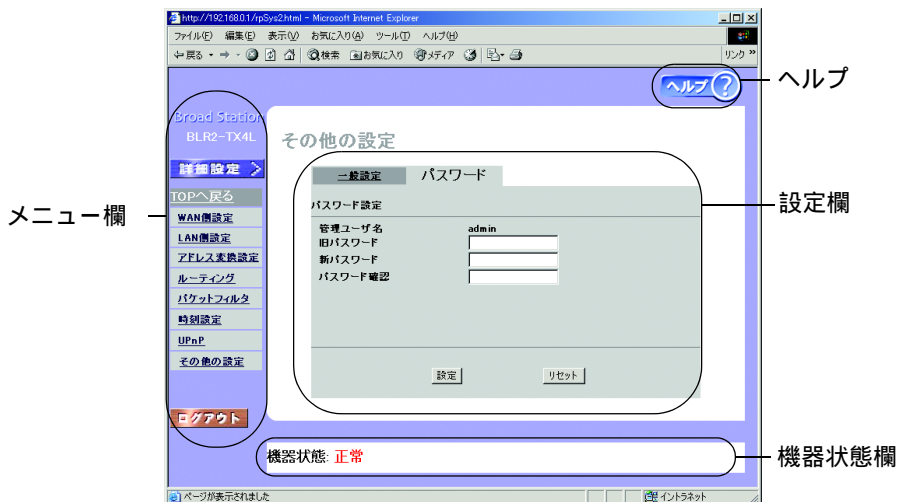
⚠注意　**設定画面を表示した状態で 10 分以上操作をしないで放置したのち操作を継続しようとすると、ネットワークパスワードの画面が現れ、ユーザ名とパスワードの入力を要求されることがあります。ここで再びユーザ名（admin）パスワードを入力して［OK］をクリックすると、設定画面の TOP ページが表示されます。**
設定画面の右上にある「Help」などポップアップウィンドウを使用する一部の機能ではポップアップウィンドウの中に設定画面のトップページが表示されることがあります。そのときは一度ブラウザを終了し、もう一度手順に従って設定画面を開いてください。

4

WEB ブラウザが起動して、設定画面が表示されます。

設定画面が表示されないときは、「第 5 章　困ったときは」の「設定画面が表示されない」（P96）を参照してください。

6.2 設定画面で使える機能

■ 設定画面の構成

メニュー欄

BroadStation の設定に関するメニューが表示されます。

ヘルプ

設定項目についての説明を参照できます。

設定欄

ここで BroadStation の設定を行います。

機器状態欄

BroadStation の状態や設定を行った際の結果が表示されます。

表示されるメッセージ	内容
正常	正常に動作しています
設定が反映されました	各種設定が反映されました
設定内容に変更がありません	設定内容を変更せずに［設定］ボタンをクリックしました
旧パスワードが間違っています	BroadStation のパスワードを変更する際、「旧パスワード」が間違っています
An Error Was Detected On The Previous Page ・HTML Item value: xxx	各種設定の際、無効な文字（xxx）を入力しました
一番新しいログ情報です	一番新しいログ情報が表示されました
一番古いログ情報です	一番古いログ情報が表示されました
DHCP の設定範囲が間違ってます	BroadStation の IP アドレスと異なるネットワークアドレスを入力しました

■　詳細設定画面の機能一覧

項目	説明	出荷時設定
WAN 側設定		
接続方法	PPPoE を使用するかしないかを設定します。	PPPoE クライアント機能を使用しない
接続ユーザ名 (「PPPoE クライアント機能を使用する」を設定したときのみ)	PPPoE の認証に使用する接続ユーザ名を 60 文字以内で入力します。プロバイダに指定されたユーザ名を入力してください。	—
接続パスワード (「PPPoE クライアント機能を使用する」を設定したときのみ)	PPPoE の認証に使用する接続パスワードを 30 文字以内で入力します。プロバイダに指定されたパスワードを入力してください。	—
切断時間 (「PPPoE クライアント機能を使用する」を設定したときのみ)	xDSL 回線へ接続してから切断するまでの時間を、秒単位で入力します。常時接続の場合は、「0」(ゼロ) を入力してください。	300 秒
サービス名 (「PPPoE クライアント機能を使用する」を設定したときのみ)	接続する PPPoE 端末のサービス名を 30 文字以内で入力します。プロバイダから指定のない場合は、空欄に設定してください。	—
WAN 側 IP アドレス (「PPPoE クライアント機能を使用しない」を設定したときのみ)	WAN 側の IP アドレスの設定をします。	DHCP サーバから IP アドレスを自動取得
アドレス変換	登録した LAN 側 IP アドレスがこのポートを使って WAN 側と通信するときに、登録した WAN 側 IP アドレスに変換されます。IP マスカレードの ON/OFF 状態をここで設定できます。	使用する
WAN 側 RIP	WAN 側 RIP の設定をおこないます。	受信のみ

項目	説明	出荷時設定
RIP バージョン	RIP のバージョンを設定します。RIP1 と RIP2 の両方は設定できませんので、RIP1 のみに対応したルータがある場合は、BroadStation も RIP1 に設定する必要があります。	RIP2
PPP 認証設定	PPP認証を行う際のCHAP方式とPAP 方式の選択を行います。	自動認証
デフォルトの MAC アドレスを使用	BroadStation に使用されているMAC アドレスを WAN 側にそのまま通知します。	
手動設定	空欄内に表示されているIPアドレスのMAC アドレスを WAN 側に通知します。	
LAN 側設定		
IP アドレス	BroadStation の LAN 側の IP アドレスを設定します。	192.168.0.1
サブネットマスク	BroadStation の LAN 側のサブネットマスクを設定します。	255.255.255.0
DHCP サーバ設定	IP アドレスを BroadStation から自動的に割り当てるかどうか設定します。	DHCP サーバ機能を使用する
割当 IP アドレス	パソコンへ割り当てるIPアドレスを設定します。	192.168.0.2 から 16 台

項目	説明	出荷時設定
プライマリ DNS サーバ	この欄に設定したアドレスがDHCPサーバ機能でパソコンへIPアドレスを通知するときに DNS アドレスとして通知されます。 ※ 空欄にした場合はBroadStationのアドレスが通知されます。このとき、BroadStation は WAN 側の DHCP サーバから取得した DNS サーバへ、パソコンからの DNS パケットを転送します。なお、空欄にする場合はDHCP サーバ機能を有効にし、WAN 側 IP アドレス設定が「PPPoEクライアント機能を使用する」または「PPPoE クライアントを使用しない」、「DHCPサーバからIPアドレスを自動取得」になっている必要があります。	0.0.0.0
セカンダリ DNS サーバ	プライマリ DNS サーバの応答がない場合に使用する DNS サーバの IP アドレスを設定します。	0.0.0.0
LAN 側 RIP 設定	LAN 側 RIP 情報を設定します。	なし
RIP バージョン	送受信する RIP のパージョンを設定します。	RIP2
アドレス変換設定		
スタートポート	指定する範囲の開始ポート番号	0
エンドポート	指定する範囲の終了ポート番号	0
LAN 側 IP アドレス	指定ポートを使用するIPアドレス	0.0.0.0
ルーティング		
名前	各ルーティングテーブルにつけた名前を表示します。	—
状態	各ルーティングテーブルの Yes（有効）／ No（無効）を表示します。	—
宛先アドレス	宛先の IP アドレスを設定します。	—
ゲートウェイ	宛先のIPアドレスへ通信パケットを送信するときに中継するIPアドレスを設定します。	—

項目	説明	出荷時設定
パケットフィルタ		
LAN 側禁止 IP アドレス	LAN側からの通過を禁止したいIPアドレスを設定します。	0.0.0.0
LAN 側禁止ポート番号 (0-65535)	LAN 側からの通過を禁止したいポート番号を設定します。	0
時刻設定		
タイムサーバ プロトコル	外部のタイムサーバからタイムサーバーが送るプロトコルを選びます。タイムサーバーはすべてのプロトコルに対応しているとは限りません。したがって、対応するプロトコルを調べておく必要があります。また各プロトコルは時間フォーマットの種類が異なります。 • Daytime (RFC 867) フォーマットは日付／月／年／時刻です。 • Time (RFC-868) フォーマットは 1970 年 1 月 1 日から、4バイトの秒数を足していく方法です。 • NTP (RFC-1305) フォーマットは RFC-868 とほぼ同じです。 • 使用しない 時刻を手動設定したい際に選びます。	使用しない
タイムサーバ IP アドレス	使用したいタイムサーバIPアドレスを入力してください。ルータは 60 秒間タイムサーバを検索します。	
現在の時刻設定	現在の時刻設定内容が表示されます。	0：0：0
新しい時刻設定	手動設定を行う際に、時刻を入力します。	
現在の日付設定	現在の日付設定内容が表示されます。	2000 ／ 1 ／ 1
新しい日付設定	手動設定を行う際に、日付を入力します。	
タイムゾーン	お住まいの地域のタイムゾーンを選択します。	GMT +09:00 東京、大阪、札幌、ソウル

項目	説明	出荷時設定
UPnP		
UPnP（ユニバーサルプラグアンドプレイ）機能を使用する	UPnP（ユニバーサルプラグアンドプレイ）機能を使用するかどうかを設定します。	使用する
その他の設定		
コンピュータ名	コンピュータ名の設定が必要な際、設定します。入力文字は半角英数字で 30 文字以内です。	
ドメイン名通知	ドメイン名の通知が必要な際、設定します。入力文字は半角英数字で 38 文字以内です。 空欄にすると、DHCP サーバから通知されたアドレスが設定されます。ここで設定をして、DHCP サーバから取得した場合、ドメイン名通知で設定されたアドレスが優先的に選択されます。	
管理ユーザ名	BroadStation の設定画面へログインする際のユーザ名です。	admin（変更不可）
旧パスワード	現在設定されているパスワードを入力します。	―
新パスワード	変更したいパスワードを入力します。	―
パスワード確認	再度、変更したいパスワードを入力します。	―

■　機器診断画面の機能一覧

項目	説明
本体情報	
ファームウェアバージョン	BroadStation のファームウェアのバージョンを表示します。
IP アドレス	LAN 側 /WAN 側の IP アドレスを表示します。
IP サブネットマスク	LAN 側 /WAN 側のサブネットマスクを表示します。
DHCP	DHCP 機能の状態を表示します。 Server ：DHCP サーバ機能が有効です（LAN 側ポートのみ） Client ：IP アドレスを自動的に取得します（WAN 側ポートのみ） None ：DHCP サーバ機能および IP アドレス自動取得機能は、無効です。 ※ PPPoE クライアント機能を使用している場合、WAN 側は「None」と表示されます。
MAC アドレス	WAN 側 MAC 設定にて、ある特定のパソコンの MAC アドレスを使用した際、ここに反映されているか確認します。
DNS アドレス	WAN 側から自動取得の場合、BroadStation は DNS リレーを行います。固定で設定した場合、設定した DNS アドレスを LAN 側に DHCP サーバとして配布します。

項目	説明
通信パケット状態 （「通信状態」をクリックして表示）	ポート　：パケット状態を表示するポートを表示します。 ステータス　：ポートの伝送モードを表示します。 ポートにパソコン / モデム等が接続されていないときは、「down」と表示されます。 ※ PPPoE クライアント機能を使用する場合は、以下の状態が表示されます。 Idle　：切断中です。 Dial　：認証中です。 Connected　：通信中です。 送信パケット：送信したパケット数を表示します。 受信パケット：受信したパケット数を表示します。 コリジョン　：コリジョンが発生したパケット数を表示します。 ［接続開始］　：WAN 側のステータスが「Idle」時に［接続開始］ボタンを使用します。 通常は、オンデマンド接続になっているため、BroadStation に接続要求が届き次第、認証を始めるようになっています。しかし、常時接続や、接続先を変更した際に、このボタンを使用することにより、接続が可能であるかどうかの確認が行えます。
DHCP リース情報	
IP アドレス	割り当てた IP アドレスを表示します。
ホスト名	IP アドレスを割り当てたパソコンのホスト名を表示します。
MAC アドレス	IP アドレスを割り当てたパソコンの MAC アドレスを表示します。

ファームウェアアップデート
弊社ホームページよりダウンロードしたファームウェアのバイナリファイルをこのページから BroadStation に書き込んでアップデートすることができます。 「ファイルの場所」： ダウンロードしたファイルをフルパスで指定します。［参照］をクリックしてファイルを選択して指定することができます。 ファイル名を指定して［アップデート］をクリックするとアップデートされます。 ⚠注意　ファームウェアをアップデートする際、設定の復元も同時に行う必要があります。詳細はダウンロードしたファイル内の「Readme.txt」をご参照ください。
設定初期化
設定の初期化：各種設定を工場出荷時の状態にリセットします。 ⚠注意　工場出荷時設定に戻す前の BroadStation の IP アドレスが「192.168.0.x」以外であった場合は、設定用パソコンの IP アドレスの再取得・変更が必要な場合があります。 設定の保存　：BroadStation の設定内容をファイルに保存します。［設定保存］をクリックすると、ファイルを保存する画面が出ますので、任意のフォルダに保存してください。 設定の復元　：設定内容を記録したファイルから BroadStation の設定内容を復元します。［参照］をクリックしてファイルを指定することができます。ファイル名を指定して［設定ファイルの読み込み］をクリックすると、設定内容が復元されます。
ログ情報
［前のページ］：ログ情報が 1 ページ内に収まらない場合、このボタンを使って前のページへ戻ります。 ［ログ情報読み出し］：以前の情報からログ情報を更新する際にこのボタンを使用します。 ［クリア］：ログ情報をすべて消去します。 ［次のページ］：ログ情報が 1 ページ内に収まらない場合、このボタンを使って次のページへ進みます。